

ソケイヘルニアの手術を受けられる方へ 2泊用

患者氏名： 様 (ID:)

	入院前日	入院	手術		退院
		月 日	手術前	手術後	月 日
達成	*手術に向けての準備が整っている	*手術について理解し同意できる *安心して手術に臨むことができる *38.5℃以上の発熱がない		*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *麻酔から覚醒できる *痛みのコントロールができる	*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *退院後の生活が理解できる
治療 処置 薬剤		麻酔科受診をします 小児科受診をします ネームバンドをつけます 手術開始の時間により、点滴の針を入れます 検温をします	朝より点滴を開始します 手術開始の時間により、朝に点滴の針を入れます 点滴中は挿入部の腫れや痛みがおこる場合があるので観察していきます 検温をします	時間ごとに体温・脈拍・血圧などを測ります 食事が十分に摂取できれば点滴の針を抜きます 食事が十分に摂取できない場合は、そのまま点滴を続けることがあります 手術後、主治医の診察があります 痛みのある時は痛み止めを使用します	主治医の診察があります 排泄物による創部の汚染を防ぐためにも、オムツはこまめに取り替えましょう 創部を保護しているテープが汚染されたら消毒シガーゼを当ててください。(市販の物で可)
検査	血液検査・心電図・胸部レントゲンの検査をします				
安静度 (活動)		病棟内は自由です 入院中は病棟内から出ることはできません ※ベッドからの転落防止のため、必ずベッド柵を使用するように注意喚起していきます		しっかりと目が覚めれば抱っこや歩行ができます	激しい運動やお腹に負担がかかる動作(鉄棒や自転車など)は避けましょう 運動に関しては次回受診日に主治医にご相談下さい
栄養 (食事)		月 日 時以降は食事をしないで下さい 月 日 時以降は絶対に食事や飲水をしないで下さい	絶飲食です	手術後、3時間後から水分が摂れます(看護師の観察後になります) 水分摂取後、軽食を摂ることができます 問題なければ夕食より年齢に合わせた食事が始まります ※アレルギーがある場合は禁食に気をつけますので、医師または看護師までお知らせ下さい	いつもと同じ食事内容で構いません よく噛んで食べましょう
清潔		シャワー浴を行い、体を清潔にします	前開きのパジャマに着替えて下さい		シャワーは手術の翌日より入れます(入浴はできません) 入浴は外来受診日以降になります
排泄				手術後、尿が出ているか確認します	便通を整えましょう
教育 説明 指導	医師より病状や入院期間・検査・治療(手術)について説明を行います 看護師が入院や手術の準備のための説明をします *手術前後2週間は予防接種を受けしないで下さい *当日に風邪症状(発熱・咳・鼻水)などの症状がある場合は、手術が中止になる場合があります	看護師から入院生活の説明や病棟内の案内をします 看護師が手術についての説明や確認をします			退院おめでとうございます 退院後の生活について看護師より説明します ※外来受診日までに創部の異常な痛みや38.5℃以上の発熱があれば受診して下さい 次回の外来受診日は1週間後になります

注1 病名については、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わりうるものである

注2 入院期間については現時点で予想されるものである

注3 手術の状況によっては予定より処置等が変更となることもある

姫路赤十字病院 小児外科

2007.5 作成

2014.6 改訂



ソケイヘルニアの手術を受けられる方へ 1泊用

患者氏名： _____ 様 (ID: _____)

	入院前日	入院・手術当日		退院
		月 日	月 日	月 日
		手術前	手術後	
達成	*手術に向けての準備が整っている	*手術について理解し同意できる *安心して手術に臨むことができる *38.5℃以上の発熱がない	*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *麻酔から覚醒できる *痛みのコントロールができる	*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *退院後の生活が理解できる
治療 処置 薬剤	麻酔科受診をします 小児科受診をします 	点滴の針を入れて点滴を開始します 点滴中は挿入部の腫れや痛みがおこる場合があるので観察していきます 検温をします ネームバンドをつけます  	時間ごとに体温・脈拍・血圧などを測ります 食事が十分に摂取できれば点滴の針を抜きます 食事が十分に摂取できない場合は、そのまま点滴を続けることがあります 手術後、主治医の診察があります 痛みのある時は痛み止めを使用します 	主治医の診察があります 排泄物による創部の汚染を防ぐためにも、オムツはこまめに取り替えましょう 創部を保護しているテープが汚染されたら消毒シガーゼを当ててください。(市販の物で可) 
検査	血液検査・心電図・胸部レントゲンの検査をします  			
安静度 (活動)		病棟内は自由です 入院中は病棟内から出ることはできません ※ベッドからの転落防止のため、必ずベッド柵を使用するように注意喚起していきます	しっかりと目が覚めれば抱っこや歩行ができます 	激しい運動やお腹に負担がかかる動作(鉄棒や自転車など)は避けましょう 運動に関しては次回受診日に主治医にご相談下さい
栄養 (食事)		____月 ____日 ____時以降は食事をしないで下さい ____月 ____日 ____時以降は絶対に食事や飲水をしないで下さい それ以降は絶飲食です 	手術後、3時間後から水分が摂れます(看護師の観察後になります) 水分摂取後、軽食を摂ることができます 問題なければ夕食より年齢に合わせた食事が始まります ※アレルギーがある場合は禁食に気をつけますので、医師または看護師までお知らせ下さい  	いつもと同じ食事内容で構いません よく噛んで食べましょう
清潔		前開きのパジャマに着替えて下さい		シャワーは手術の翌日より入れます(入浴はできません) 入浴は外来受診日以降になります
排泄			手術後、尿が出ているか確認します	便通を整えましょう
教育 説明 指導	医師より病状や入院期間・検査・治療(手術)について説明を行います 看護師が入院や手術の準備のための説明をします *手術前後2週間は予防接種を受けないで下さい *当日に風邪症状(発熱・咳・鼻水)などの症状がある場合は、手術が中止になる場合があります	看護師から入院生活の説明や病棟内の案内をします 看護師が手術についての説明や確認をします  		退院おめでとうございます 退院後の生活について看護師より説明します ※外来受診日までに創部の異常な痛みや38.5℃以上の発熱があれば受診して下さい 次回の外来受診日は1週間後になります 

注1 病名については、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わりうるものである
注2 入院期間については現時点で予想されるものである
注3 手術の状況によっては予定より処置等が変更となることもある

ソケヘルニアの手術を受けられる方へ

日帰り用

患者氏名： 様 (ID:)

	入院前日		入院・手術当日		退院
		病棟	手術前	手術後	
達成	*手術に向けての準備が整っている	*手術について理解し、同意が出来る *安心して手術に臨むことができる *38.5℃以上の発熱がない		*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *麻酔から覚醒できる *痛みのコントロールができる	*38.5℃以上の発熱がない *出血がない *退院後の生活が理解できる
治療 処置 薬剤	麻酔科を受診します 小児科を受診します 	検温をします ネームバンドをつけます 	点滴の針を入れ点滴を開始します 点滴中は挿入部の腫れや痛みがおこる場合があるので観察していきます 	時間ごとに体温・脈拍・血圧などを測ります 痛みのある時は痛み止めを使用します 食事が十分に摂取できれば点滴の針を抜きます 食事が十分摂取できれば点滴の針を抜きますが、摂取できない場合は点滴を続けます 手術後、主治医の診察があります	主治医の診察があります 排泄物による創部の汚染を防ぐ為に、オムツはこまめに取り替えましょう 創部を保護しているテープが汚染されたら消毒しガーゼを当ててください(市販の物で可)
検査	採血・心電図・胸部レントゲンの検査をします				
安静度 (活動)		病棟内は自由です ただし、入院中は病棟内からは出ることはできません ※ベッドからの転落防止のため、必ずベッド柵を使用するように注意喚起していきます		しっかり目が覚めれば抱っこや歩行ができます 	激しい運動やお腹に負担のかかる動作(鉄棒や自転車等)は避けましょう 運動に関しては次回受診日に主治医に相談して下さい
食事 (栄養)		月 日 時以降は食事をしないで下さい 月 日 時以降は絶対に食事や飲水しないで下さい 入院当日は絶飲食です 		手術後、3時間後から水分が摂れます(看護師の観察後になります) 水分摂取後、軽食を摂ることができます 問題なければ食事が始まります 	いつもと同じ食事内容で構いません よく噛んで食べましょう
清潔		前開きのパジャマに着替えて下さい			シャワーは手術の翌日より入れます(入浴はできません) 入浴は外来受診日以降になります
排泄				手術後、尿が出ているか確認します	便通を整えましょう
教育 説明 指導	医師より病状や入院期間・検査・治療(手術)について説明を行います 看護師が入院や手術の準備のための説明をします *手術前後2週間は、予防接種を受けないで下さい *当日に風邪症状(発熱・咳・鼻水)などの症状がある場合は、手術が中止になる場合があります	看護師が入院生活の説明や病棟内の案内をします 看護師が手術についての説明や確認をします  			退院おめでとうございます 看護師より退院後の注意点を説明します ※受診日までに創部の異常な痛みや38.5℃以上の発熱があれば受診して下さい 次回の外来受診日は1週間後になります 

注1 病名については、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わりうるものである

注2 入院期間については現時点で予想されるものである

注3 手術の状況によっては、予定より処置等が変更となることがある

姫路赤十字病院 小児外科

2007.5 作成

2014.6 改訂